

*Euryptychus* は、本種の他にクロコメツキダマシ *E. vicinus* Fleutiaux, 1923 とコクロコメツキダマシ *E. lewisi* Fleutiaux, 1923 の 2 種知られているが、体全体が褐色であることや、腹部各節の後角が尖ることにより、後 2 種から区別することができる。九州・屋久島には本種にやや似るが触角が著しく長い新種 (*E. sp.*) がいるが、これについては別に発表を予定している。

本種を含むクロコメツキ属は、ミゾナシコメツキダマシ亜科に従来は含まれていたが、近年の研究では、クロコメツキダマシ属をタイプ属としたクロコメツキダマシ族 *Euryptychini* が設立され、*Macraulacinae* 亜科に置かれている (Muona, 1993)。

#### 引用文献

- Fleutiaux, E., 1923. Les Melasidae du Japon (Coléoptères). Annales de la Société Entomologique de France, 91: 291–328, pl.6.  
 久松定成, 1985. コメツキダマシ科, pp. 42–51 (pls. 8–9). 黒澤良彦・久松定成・佐々治寛之編著, 原色日本甲虫図鑑 (III). 保育社, 大阪.  
 Hisamatsu, S., 1994. A new species of *Euryptychus* LeConte from Japan (Coleoptera: Eucnemidae). Transactions of the Shikoku Entomological Society, Matsuyama, 20 (3/4): 151–153.  
 黒澤良彦, 1963. コメツキダマシ科, pp. 167–168, pl. 84. 原色昆虫大図鑑 II (甲蟲篇). 北隆館, 東京.  
 Muona, J., 1993. Review of the phylogeny, classification and biology of the family Eucnemidae (Coleoptera). Entomologica scandinavica, Supplement (44): 1–133.  
 笹岡康則・木野田毅, 2012. 宮崎県内の甲虫の記録 II. タテハモドキ, (48): 19–32.  
 Suzuki, W., 2002. Record of *Euryptychus ishiharai* (Coleoptera, Eucnemidae) from Haha-jima island of the Ogasawara Islands, Japan. Elytra, Tokyo, 30: 191–192.  
 鈴木 互, 2007. 屋久島におけるイシハラクロコメツキダマシの記録. 甲虫ニュース, (159): 15.  
 山上 明, 1989. 多摩川流域のケヤキ枯れ枝に侵入する甲虫類. 神奈川虫報, (90): 129–146.

(鈴木 互 法政大学第二高等学校生物科)

#### 【短報】沖縄県西表島におけるニッポンムネヒダミヤマカミキリの追加記録

ニッポンムネヒダミヤマカミキリ *Nadezhdiella japonica* Hayashi は、沖縄県の石垣島と西表島に分布するが、記録の多くは石垣島に集中し、西表島においても採集例があるものの、正式な記録は、丸山 (1998) の他は少ない。筆者らは下記のように確認しているので追加記録しておきたい。

1♀ (図 1A), 沖縄県西表島西高那, 25. V. 2012, 鎌苅・杉本 (出口) 採集, 鎌苅保管。

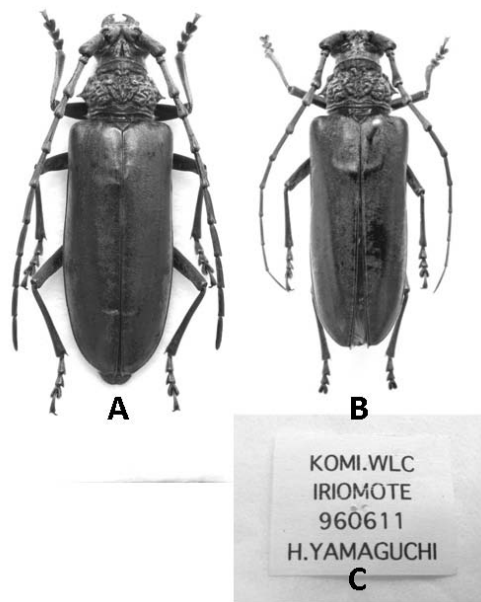


図1. 西表島産ニッポンムネヒダミヤマカミキリ (♀). A, 今回採集した個体; B, 丸山 (1998) で記録された個体; C, 同ラベル。

午後 11 時 30 分頃, 灯火に飛来した個体を採集した。周辺の環境は, 海拔 50 m ほどの二次林で大径木は少ないが, 食樹の一つとされているカラスザンショウ (未発表) が自生しているものと推察される。また今回, 丸山 (1998) の記録の基になった標本を見出したので, ここに改めて図示しておく (図 1B, C)。この標本は現在, 日本大学生物資源科学部森林動物学研究室に保管されている。

末筆ではあるが, 丸山宗利氏が発表に際して使用した標本の写真撮影と, 本報告への使用を許された日本大学生物資源科学部の岩田隆太郎教授, および発表を勧めて下さった横浜市の日下部良康氏にお礼申し上げる。

#### 引用文献

- 丸山宗利, 1998. 西表島におけるニッポンムネヒダミヤマカミキリの記録. 月刊むし, (333): 41.

(土田 孝 431-3192 浜松市東区半田山 1-20-1 浜松医科大学病院病理部)

(鎌苅哲二 224-0001 横浜市都筑区中川 1-2, A-1405)

(杉本 (出口) 可能 425-0041 焼津市石津 1279-2)